

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	伊予市農業委員会委員選挙事業			
予算科目	2 款 4 項 3 目			
総合計画での位置付け	行財政改革 行財政改革の推進			
所管課情報	担当課: 行政委員事務局		電話番号(内線): 734	
記入者情報	所属長: 中田 末明		担当責任者: 佐々木 正孝	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 26 年度 【開始年度】平成26年度			
事業の対象	農業委員会委員選挙人名簿登載者			
根拠法令等	公職選挙法、農業委員会等に関する法律			
事業の目的	農業者の代表機関としての代表者30人(伊予地区15人、中山・双海地区15人)を選挙により選出する。			
事業の内容	選挙により選出される農業委員会委員30人(伊予地区15人、中山・双海地区15人)選出するための選挙の執行。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	0	5,400	2,672	2,672
	人件費	0	1,590	1,590	1,590
	合計	0	6,990	4,262	4,262
人件費 内訳	人工数	0.00	0.20	0.20	0.20
	人件費単価	0	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	1,590	1,590	1,590
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	6,990	4,262	4,262

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
期日前投票者数	人		400	383	383
当日投票者数	人		1500	1126	1126

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	0	0	0	0	0	0

成果指標				
成果指標	投票率 = 投票者数 / 有権者数			
指標設定の考え方	投票に参加した人(投票した人)の割合を示す。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	0	65	0	0
実績	0	59.93	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	普通選挙と違い、投票権を有する資格者が農業委員会委員選挙人名簿登載者に限られてくるため、選挙啓発に関して困難さがある(防災無線で啓発を行うと、選挙があると勘違いされる方が出たりする。)ため、投票率を向上させるための施策を工夫する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	農業の耕作面積を持った投票権を有する方々の農業委員会委員選挙人名簿登載者に限られてくるのと若者の農業に対する離れが投票率を下げている要因になっているので今後の課題は、所得向上がカギではないかと思える。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題